

毎年 4/2 は 国連の定めた **世界自閉症啓発デー** 発達障害啓発週間 4月2日～8日

World Autism Awareness Day

みんな たいせつ  
こせい とくせい たようせい

SESAME STREET

応援メッセージも 募集しています 日本各地で啓発イベントが行われます。詳しくは公式サイトへ

啓発デー #世界自閉症啓発デー

お問い合わせ先 一般社団法人日本自閉症協会 Tel.03-3545-3380 Fax.03-3545-3381 E: asj@autism.or.jp

## 世界自閉症啓発デーとは

国連総会（H19.12.18開催）において、カタール王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」（World Autism Awareness Day）とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

香川県においても自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行います。具体的には、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、高松市商店街中心でのパレードや県内12か所のブルーライトアップ等の活動を行っています。



自閉症をはじめとする発達障害について知っていただくこと、理解をしていただくことは、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるものと考えております。

みなさまのご理解とご支援をお願いいたします。

詳細は1Pへ



## ポム・ド・パンの理念

- ・障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。
- ・障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。
- ・障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。
- ・障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

# 令和7年度「世界自閉症啓発デー」について

毎年4月2日は国連が定めた世界自閉症啓発デーです。また4月2日～8日は発達障害啓発週間です。自閉症をはじめ、発達障害について知っていますか？

昨年は5年ぶりにパレードを実施、大変多くの方にPRさせていただきました。今年もより多くの方に自閉症について理解していただくための取り組みを行います。

## (1)啓発パレード

日時 令和7年4月2日(水) 11時30分～14時15分

場所 高松市商店街中心

参加者 自閉症協会会員、発達障害関係団体、ウインドヒル利用者様・職員、香川こだま学園職員、アルプスカがわ職員、高松市障がい福祉課職員、香川県障害福祉課職員、他(香川オリーブガイナース選手参加)

11時30分 県庁を出発、田町商店街～南新町商店街～

11時45分 丸亀町グリーン(グッズ配布)

12時30分 ドーム広場へ移動(グッズ配布)～兵庫町商店街～

13時30分 高松市役所(グッズ配布)

14時15分 県庁に戻り解散。

\*ご賛同いただける方でしたらどなたでも大歓迎ですので、ぜひ一緒にパレードに参加してみませんか？宜しくお願い致します。

## (2)啓発キャンペーン

日時 令和7年4月2日(水) 17:00～18:00

場所 ことでん瓦町駅コンコース(瓦町フラッグ2階)(香川オリーブガイナース・カマタマーレ讃岐選手参加)

## (3)ブルーライトアップ 県内12か所(ブルーは自閉症のシンボルカラーです。)

・栗林公園・屋島レグザムフィールド・高松シンボルタワー・四国電力本店 四国電力送配電本社屋鉄塔・丸亀城天守・旧善通寺偕行社・琴弾公園「銭形砂絵」・四国学院大学「礼拝堂」・うたづ海ホテル・ユープラザうたづ・JR琴平駅・小豆島オリーブ公園「ギリシャ風車」

\*発達障害啓発週間の期間中ブルーライトアップします。お近くに行かれた際には是非寄ってみてください。

## (4)啓発資料・作品等展示

場所 県庁1階ギャラリー 令和7年4月2日(水)～4月8日(火)

支援団体の紹介や利用者様の作品等を展示致しますので、県庁に行かれた際には是非ご覧になってください。

## (5)啓発ポスター掲示

期間 令和7年3月上旬～4月8日(火)

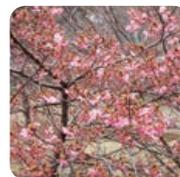
配布先 県内公立小中学校、公立私立高等学校、特別支援学校、教育委員会、

市町発達障害支援施策管課、県・市社会福祉協議会、障害者就業・生活支援センター、施設・相談支援事業所等、県内医療機関(精神科病院、診療所、発達障害関係)、県関係機関(保健福祉事務所等)

また4月2日(水)は県障害福祉課の職員の方々ブルージャンパーを着用して仕事をしております。

一緒にパレードしませんか？  
途中からの参加でも大歓迎です。

## トピックス① ようやく開花しました



例年3月のこの時期は河津桜が満開なのですが、今年は寒さのせいか遅く、ようやく開花しました。ゆっくりではありますが、春が近づいていますね。



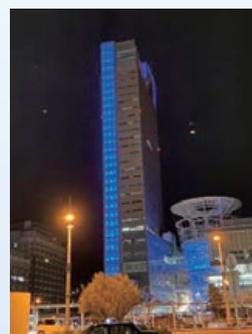
屋島レグザムフィールド(2024年)



栗林公園(2024年)



銭形砂絵(2024年)



高松シンボルタワー  
(2024年)



四国電力送配電  
本社屋鉄塔  
(2024年)

# デリバリーアーツ2024「讃岐国分寺太鼓」

令和6年11月27日(水) 地域交流棟にて「讃岐国分寺太鼓」の公演を地域の方をお招きし、実施いたしました。この公演は高松市が主催し、公益財団法人高松市文化芸術財団が企画・実施する「デリバリーアーツ2024」の協力団体募集に応募し、開催が決定したものです。

複数ある公演のラインナップよりウインドヒルでは昨年に引き続き「讃岐国分寺太鼓和・心・響・感」の開催を希望しておりました。和太鼓の生の演奏を目の前にして、力強いバチさばき、大太鼓による地響きが足元から体全体に響いてくる音に感動すら覚えました。また地元特産のサヌカイトを使った演奏で澄んだ音色に聞き入りました。演奏される方は男性2名、女性7名で特に女性の太鼓を叩く姿に勇ましさを感じました。

今回は昨年以上にチラシを地元・近隣のコミュニティセンターやスーパー・コンビニ等の店舗に協力を仰ぎ置かせていただきました。

今後も地域の皆様に身近に感じてもらえる施設となるべく、様々なイベントを可能な限り行っていきたいと改めて強く思いました。

**デリバリーアーツ**…文化や芸術を身近に気軽に感じてもらうために、色んな公演の出前を無料で行っております。



## 監査について

2025年1月30日(木)「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(平成17年法律第123号)及び社会福祉法(昭和26年法律第45号)の規定に基づき「令和6年度社会福祉法人及び障害福祉施設の指導監査」が実施されました。

事前に提出しました、「監査事前調査及び自主点検表」を基に、当施設の運営に関する内容を精査して頂きました。当日は高松市役所より9名来所され、法人と施設の両方の監査がありました。

事前の提出書類作成、またその基となる様々な書類の準備等大変でしたが、無事終了しました。

これからも利用者様の為に、安心・安全な運営をしてまいります。

松原正子様  
御無汰して下さり  
おカドバンの会報送付下さり  
ありがとうございます  
毎週利用者の分々の活動  
作品を見せて頂いたありがとうございます  
とっごひます  
皆さんお元気な催物作業時の  
笑顔いいです  
松原さんの知カの賜物です  
今後の発展をお祈りして下さり  
寒さと向う季節と暖かいます  
皆様の健康を祈り  
します  
松原さんもうぞお身体に  
気配られ、ボムド・バンの  
発展を祈っております  
植田 美久

このお礼状は会報第43号(2024年11月発行)を送付させていただいた際に、施設長あてに届いたお礼状になります。このような心温まるお手紙を頂けて編成を担当する者としては大変嬉しく思います。今後とも皆様により楽しく読んでいただけるような会報を制作していきます。  
(頂いたお手紙の文面・文字のまま掲載しております)

# クリスマス会

令和6年12月17日(火)

生活支援員 太田 達也

クリスマス会に初めて参加させて頂きました。以前も同種の仕事をしていたのですが、ウインドヒルのように利用者様が主体となったクリスマス会は初めての経験でした。日々の活動を通して練習を行ってきた出し物を他の利用者様、ご家族、ボランティアの方に披露して、参加された方、利用者様、職員がそれぞれに楽しむことができる素晴らしい会でした。またサンタクロースからプレゼントを頂き、とても喜ばれている顔が印象に残っています。



## トピックス②

### 梅開花

3月7日梅が満開になりました。2月25日には一分も咲いてなかったのですが、たった10日間でこんなにも変わるものなんですね。



## 協定福祉避難所体制整備に係る連絡会について《続報》

### 令和6年度の取り組み

改めて「福祉避難所」について記します。

協定福祉避難所は、災害時に必要に応じて開設される避難所であり、最初から避難所として利用することは出来ません。まず指定避難所へ避難し、指定避難所福祉エリアでの生活が困難である場合には、災害時に要配慮者を受け入れることについての協定を締結している社会福祉施設等に対し、協定福祉避難所の開設を要請し、そこで初めて避難所としての役割を果たします。

**1回目** 令和6年7月31日(水) サンメッセ香川 2階大会議室にて、高松市社会福祉協議会の方が議事進行を務め、令和5年度の活動報告、令和6年度の計画(案)発表がありました。その後、県健康福祉総務課の担当者による「福祉避難所の整備について」と、実際に災害時支援に行かれた施設の担当者による「令和6年能登半島地震災害支援からの考察」という题目的研修会がありました。今年度はより具体的な活動として、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害者支援施設でそれぞれ1回ずつ福祉避難所の開設・運営訓練を行う予定だそうです。

**2回目** 令和6年11月20日(水) 香川県川部みどり園 大会議室にて、障害者支援施設7施設が参加し、協定福祉避難所に係る開設・運営訓練が実施されました。

高松市社会福祉協議会が主導し、高松市障がい福祉課、川部みどり園職員が具体的なシナリオを準備し、それに沿ってそれぞれの担当に扮し進めていきました。参加した各施設担当者は、一連の流れを目の前で繰り広げられる連携をシナリオを見ながら確認していきました。ただ実際の災害時には現場は混乱しており、ライフラインも止まっている可能性がある状況で、マニュアル通りにはいかない事が殆どだと感じました。

**3回目** 令和7年2月20日(木) サンメッセ香川 2階大会議室にて、高松市社会福祉協議会の方が議事進行を務め、「災害時に求められる福祉施設の対応」という題目で香川県防災士会 小河様の研修会がありました。南海トラフ地震があった場合の香川県で想定される被害を資料で頂きました。その後、高松市地域共生社会推進課より「高松市 福祉避難所等の開設・運営マニュアル」の修正箇所の説明があり、また令和7年度の予算で有事の際の施設の改修等の補助制度の予算を計上する予定もあると伺いました。

有事の際には自分が要介護者にならない様に、日頃からの備えを怠らないようにしなくてはなりません。

# 初詣

令和7年1月7日(火)、8日(水)



生活支援員 太田 達也

私がウインドヒルに来て初めて利用者様と初詣に行きました。参加された利用者様は、他の参拝者の方と同じように列に並び待つこと、順番が来ると、本殿の前に行き鈴を鳴らし、しっかりとお参りをすることができました。トイレも他の参拝者が使用していたら、待つことができていました。その後、少し時間があつたので空港公園に行き、のんびりとした時間をすごしました。



主任生活支援員 加藤 理江

地元にあります三谷八幡宮へ初詣に行きました。コロナ禍の中、初詣も神社の外からの参拝が続いておりましたが、久しぶりに中に入って一人ひとり御祈禱して頂きました。今までの経験から約1時間近くの御祈禱も静かに座って待つことができ、名前を呼ばれると前に出てしっかりお参りで宮司さんからもお褒めの言葉を頂きました。今年も1年利用者様も職員も共に健康で元気に毎日過ごせますようにと願いを込めてお参りができ、2025年のすばらしいスタートをきることができた1日でした。



## 香川県知的障害者福祉協会ボウリング大会

令和7年1月24日(金)

令和7年1月24日(金)香川県知的障害者福祉協会ボウリング大会に参加しました。

丸亀市にある「丸亀スターボウル」を会場に午前と午後に分かれ、男子20チーム、女子4チーム、混合11チーム、計35チームが参加し、熱戦を繰り広げました。ただボールを投げピンを倒すだけのスポーツですが、ボールの選定、投げ方等工夫が必要で奥が深いようです。ウインドヒルでは3名の利用者様が参加しました。利用者様の競技のあとは参加している施設職員の対抗マッチもありました。残念ながら職員の方はボロボロでしたが、利用者様は団体で準優勝、個人戦では藤岡氏が2位という好成績を収めました。日頃からウォーキング等をしているので、体幹が鍛えられているのかもしれませんが。次回参加することがあれば職員もいい成績が残せるように頑張りたいと思います。



# ひな祭り・お楽しみ会 令和7年3月3日(月)

主任生活支援員 松田 仁美



3月3日(月)、地域交流棟でひなまつりお楽しみ会を実施しました。ひなまつりの曲に合わせて合奏しながら歌を歌ったり、鳴子を使ってダンスをしたり、今回は初めてゲームにも挑戦しました。

合奏、ダンスでは普段に比べ練習時間は短かったにも関わらず、とても上手に披露する事が出来ました。

毎日のフレッシュクラブで教えてくださっている小野川先生が利用者様の為に笑顔で楽しく参加できるように内容を提案してくださいました。感謝しております。ゲームでは2つのゲームを行いました。その1つのゲームは「ひなあれ挟み取りゲーム」です。内容は利用者様が箸で物を挟むゲームです。利用者様の普段の生活の中から取り入れました。食事の時の箸が上手に使用しているところを皆様に見てもらう良い機会と思いゲームに取り入れました。どの利用者様も上手に箸で挟む事が出来ていました。利用者様の中にはなかなか挟む事が出来ず悪戦苦闘していましたが、諦めず挟み取るまで何度も繰り返していた姿を見て感動し嬉しかったです。

お菓子の時間では、袋に入っている色んな種類のお菓子の中から1個ずつ出して、選びながら食べる利用者様、型の大きいお菓子から食べる利用者様など一人ひとりの食べ方も発見することが出来、笑顔で美味しく食べている姿を見てとても嬉しくなりました。

これからも利用者様が普段の生活の成果を皆様に見てもらえるような機会を作るような内容も含め、笑顔で楽しく参加してもらえよう行事を開催していきたいです。



## トピックス③ 枯れ松の伐採

枯れ松を伐採しました。枯れた原因はわかりませんが、20年間の思い出の一部が無くなるのは寂しいですね。



## 地域とのつながり

## 地域交流発信

2025年

2月9日

緑と水のまち三谷町を明るく住みやすい元気なまちづくりの実現のために活動する「三谷地区コミュニティ協議会」が主催し、地元である三谷町で「みたに駅伝」というローカルな駅伝大会が開催されました。小学生のみ出場可能で、町内だけでなく、町外、県外からの参加も可能で、陸上クラブや野球チーム等様々なチームが参加する、子どもたちの駅伝大会になります。今年は17チームが参加されました。三谷町にお住まいの方を始め、三谷町に拠点を構える企業の方など、地域の方々のボランティアによって支えられています。以前はウインドヒルでもボランティアで協力させて頂いておりましたが、今は参加できておりませんが、地域とのつながりを大切に地域の皆様に支えられ・御協力を頂きながら利用者様の安心・安全な生活が出来るよう、日々支援に努めています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



# 職員研修

## 施設内研修

2024年11月11日(月)

「自閉症の行動障害 その理解と対応」

社会福祉法人あかりの家 理事長 三原 憲二 氏



社会福祉法人あかりの家 理事長 三原憲二氏を講師にお迎えし、施設を一つのチームとして考えて様々なテーマを共有し、同じ場所で同じ仲間と考え、感じる事をテーマに講演して頂きました。三原先生には今回で3年連続お越しいただき、組織をチームとして考え、そのチームは利用者様側に向いてないといけないし、チームとして成長するかどうかは我々職員の意識によって決まってくる。先生の話される一つ一つのキーワードを含めたお話には、現場の職員のみならず、職場全体に通じるものがあると感じました。今回一番印象に残った言葉は「存在感」です。利用者様が普通の行動が出来る支援してくれる職員が、その利用者様にとって存在感のある居なくてはならない人なのだと思います。講演の最後にウインドヒルの理念についてお話くださり、その根底にあるトモニ療育センターの河島淳子先生の言葉にも触れました。この理念は20年利用者様の成長の為にやってきた支援の基になっているものなので、改めて大切にしていかなければならないと思いました。

2024年12月9日(月)

虐待防止研修

香川県知的障害者福祉協会 理事長 森 正行 氏

香川県知的障害者福祉協会 理事長 森正行氏を講師にお迎えし、虐待防止について講演をしていただきました。

今回の研修はマニュアルや法律に即した内容ではなく、実際の現場で役に立つ内容でした。現場の事をよくご存じである森理事長様のお言葉一つ一つが貴重な心に刻むべきものだったと思います。「障害者虐待防止法」は遵守するべきものではありますが、その法律には取まり切れない様々な場面があるはずです。その中で非常に大事になってくるのが、職員の意識になってくると思います。研修を受けて改めて虐待防止の原点について考えさせられました。

2025年1月20日(月)

救急救命研修

高松市消防局 消防防災課 伏見 忠 氏、武市 進 氏

高松市消防局 消防防災課の伏見忠氏、武市進氏を講師にお迎えし、救急救命について講習を受けました。「倒れている人を見たら」をテーマにAED(自動体外式除細動器)を用いた救命措置の方法を学びました。生命の危機に陥った人を見かけたら率先して声を出し、冷静に素早く周りにいる人に助けを求めながらの対応が必要になります。人形を使い心臓マッサージ(胸骨圧迫)の方法であったり、AEDの操作方法も教えて頂きました。一次救命措置を正しく行うことで助かる可能性を広げることが出来ます。

もし身近で倒れてる人を見かけたら動ける勇気を持たなければいけないと思いました。今回は限られた時間の中での講習でしたので、基本的な内容のみでしたが、もっと詳しい講習を受けられる機会があるようなので、是非受講してみたいと思いました。



## 施設外研修

2024年令和6年11月21日(木)、22日(金)

九州・山口・四国自閉症施設協議会 職員研修会

主任生活支援員 松田 仁美

「九州・山口・四国自閉症施設協議会 職員研修会」に参加させていただきました。

今年は福岡県福津市にある「社会福祉法人 玄洋会」が幹事施設となり、生活を豊かにする日中活動の充実をテーマに、各施設の一人一人の個性や特性を生かす為、日々試行錯誤しながら充実した活動を提供できるよう創意工夫されている活動内容を紹介し、今後の参考にしていける目的のもと開催されました。

分科会では玄洋会で特に力を入れて取り組んでいる表現活動の中の二つ「心理劇体験」「絵画教室体験」があり、私は即興で役割演技する心理劇体験に参加し、自発に創造性を高める集団精神療法を学びました。即興で動き、アイデアを考える事の難しさと、ペアの利用者様とのコミュニケーションの楽しさを知りました。健常者に無い障がい者の発想にも驚き、勉強にもなり、ウインドヒルでの日常活動にも取り入れて、利用者様と楽しい時間を過ごしたいと思いました。

意見交換会ではウインドヒルの活動の一環として「世界自閉症啓発デー」について発表しました。パレードの動画を他の施設の方々に見てもらったところ、「みんなが列になって並んで歩いている姿や、一般の方々にパンフレットを配っている姿は凄い！うちの施設では出来ない！素晴らしい！」とのコメントを頂いた事とても嬉しくなりました。

私たちの日々の支援が、利用者様の成長に繋がっていると改めて実感し、誇らしく思えた研修会でした。

2024年令和6年11月27日(水)～29日(金)

令和6年度リスクマネジャー養成研修会

サービス管理責任者 松原 健太

令和6年11月27日から29日にかけてリスクマネジャー養成研修会に参加しました。研修の目的は法人を取り巻く様々なリスクに対応していくことだけではなく、福祉サービスを利用される方が安全に安心して利用できる環境をつくる為の役割を担う人材を育成することです。研修では講師による講義や演習、参加者同士による支援現場を想定してのディスカッションを行い見識を深めていきました。「リスク」という言葉は一般的には「危険」と訳される為、できるなら敬遠したいと考えてしまいますが、多様性を認め合う昨今の社会情勢や、様々なニーズに対応していく必要がある福祉サービスにおいて、常に隣にあるものだと感じました。そのような中でリスクを回避することだけを考えるのではなく、予めリスクを想定しておくことや、もしリスクが発生してしまった場合にはそれを最小化し適切に対処していくことが法人を守り、利用者様を守ることに繋がると学びました。

2024年令和6年12月18日(水)～19日(木)

第12回障害者支援施設部会全国大会(広島大会)

サービス管理責任者 松原 健太

令和6年12月18日から19日にかけて障害者支援施設部会全国大会に参加しました。「共生社会への更なる挑戦～インクルーシブで持続可能な本人中心の意思決定～」を大会テーマに、1日目は厚生労働省による行政説明、講師による基調講演、共生社会に向けた意思決定支援のあり方についてシンポジウムが開かれました。入所支援において利用者様の意思決定を最大限に尊重するには何が必要か改めて考える機会となりました。

2日目は「支援施設でのICTの活用～ICT・AI導入における、生産性向上とは～」の分科会に参加し、ICTの導入方法や、導入後に発生したメリット・デメリットの説明がありました。当法人でもICT導入について検討を行い、支援員の業務負担の軽減、支援業務における生産性の向上から利用者様支援の質の向上を目指して取り組む必要があると感じました。2日間の大会を通じて感じたことは、入所施設で生活をするのか、地域で生活をするのか、どちらが良い悪いかの議論をするのではなく、利用者様が望む生活を自らの意志で選択する機会があること、その実現に向けて寄り添った支援を行うことが共生社会実現に向けて大切なことなのだと感じました。



## チューリップの球根を 沢山いただきました



橋本種苗園様よりチューリップの球根を沢山いただきました。もう既に芽が出てきているので、直ぐに畑、プランターに植えました。プランターの方は順調に育っているのですが、畑の方はまだ芽が出てきておりません。畑に植えたチューリップが咲いたら、横の道路を通るのが楽しみになってきますね。



## 寄付

2025年12月11日(水)

三和電業株式会社  
高松支店社員一同様より



8月21日に一度寄付を頂いたのですが、本日追加で寄付をしていただけるとい連絡を頂き、ウインドヒル迄お越しいただきました。職員1人1人善意の気持ちを結集して寄付を頂きました。ありがとうございました。

## 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

敬称略・順不同

### ●令和6年度個人会員

三原 憲二 植田 琴美

令和6年11月1日～令和7年3月11日現在、以上の方々継続及び新規にご入会して頂きました。

令和7年4月1日以降にご入会の方は、次回の会報にお名前を掲載させていただきます。本当にありがとうございます。

## 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」をサポートしています。今後長期にわたり、利用者一人ひとりを大切に理想の療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいませようお願い申し上げます。

なお、すでに会員の方には毎年度初め4月1日付で継続お願いのご案内と振込用紙を送付しております。よろしくお願いたします。

[年会費] 個人会員 一口3,000円 団体会員 一口10,000円

[ご入金方法] 郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

## あたたかいご支援、本当にありがとうございました



### 後援会からのご寄付

ウインドヒルの利用者様は、それぞれの場で元気に作業や余暇に取り組んでおります。利用者様をサポートする職員も色々な工夫を凝らして支援を行っています。その環境を支えるために、これからも未長く多くの方々のご支援とご理解を必要としている中、令和5年度は、作業棟のロールスクリーンとポータブル電源1台の御寄付を頂きました。作業棟は明るい色のスクリーンに交換して作業効率がアップしております。ポータブル電源は万が一の停電や災害に備えて設置いたしました。ありがとうございました。

また令和6年度もポータブル電源を1台御寄付を頂きました。非常時の為に大切にに使わせていただきたいと思います。今後とも変わらぬご支援の程、宜しく御願申し上げます。



社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページです。当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので、是非ご覧ください。スマートフォンでは、右のQRコードから読み取れます。アドレス：<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン

## 編集後記

今年高松に新たなスポットが誕生しました。その名も「あなぶきアリーナ香川」。収容人数最大1万人のメインアリーナをはじめ、サブアリーナと武道施設も併設し、スポーツ大会はもちろんの事、今まで来高されなかったアーティストも来るのではないのでしょうか。それに伴い、サンポート周辺もさらに賑わいを増していくのでしょうか。楽しみ半分、南海トラフ地震の時は大丈夫なんだろうかと心配な面もあります。



松ほっくりのポムです。



松ほっくりのパンです。